

医療・福祉機器関連の製品開発成果の紹介

医療・福祉機器等製品化促進事業では、医療・福祉機器や医療・福祉サービス等の開発を促進することにより、医療・福祉産業の活性化を図っています。今回は、製品開発成果事例についてご紹介します。今年度は医療機器等のOEM製造や部品製造、共同開発など、県内ものづくり企業にとって、医療機器製造販売業は重要なパートナーとなることから、製造販売業者との協力体制を構築し、事業を推進します。

「麻酔科医公式ユニフォーム」

アメジスト大衛株式会社（津市）



「麻酔科医公式ユニフォーム」は、三重大学医学部附属病院とアメジスト大衛株式会社が共同で開発を行いました。開発の中心となった医学系研究科の島岡教授、附属病院臨床麻酔部の宮部部長、上村副部長にお話を伺いました。



麻酔科医公式ユニフォーム

「麻酔科医公式ユニフォーム」開発の経緯は？

プロフェッショナルな職業として、麻酔科医が質の高い医療を誇りを持って提供できる環境をつくりたいという思いがありました。ユニフォームの開発によって、麻酔科医のモチベーションの向上と充足を図ることは、手術の多い当病院にとって重要だと考えています。

ユニフォームの特徴は？



宮部部長(左)と上村副部長(右)

麻酔科医が患者情報を記載した手帳や医療用PHSなどを持ち運べるように、大きな3つのポケットをつけました。また、緊急時には麻酔科医が人工呼吸や心臓マッサージなどを行うため、医療現場で麻酔科医をすぐに見つけられるよう、目立ちやすいエンジ色にしました。デザインにもこだわり、背中には、麻酔科医が気管挿管に使用する「喉頭鏡」をモチーフにしたロゴを付けています。



「喉頭鏡」をモチーフにしたロゴ

「立てて収納 玄関スロープ」

株式会社スミス（伊勢市）

車椅子用スロープの「立てて収納 玄関スロープ」は、非常に軽量（3.5kg 1180mmの場合）でありながら、300kgもの重さに耐える頑丈さを兼ね備えています。専用スタンドを用いることで、場所を取らずに収納することが出来ます。



新型点滴棒「カチャッと君」

三重金属工業株式会社（津市）

点滴棒とキャスターが分離するシステムを採用し、輸液類等の着脱作業をせずに、ワンタッチでベッドやストレッチャー等へ点滴棒を装着出来ます。



編集後記

みえライフイノベーション総合特区の指定から早1年近くが過ぎました。国の財政支援も決まり、いよいよ総合特区が本格的に動き出します。皆さんと一緒に新しいイノベーションの波に乗りましょう。

新しいメンバーでライフイノベーション課がスタートしました！新しい事業も始まり、日々、わくわくしながら仕事をしています。どんなイノベーションを三重県から起こせるか楽しみです！

発行 三重県健康福祉部ライフイノベーション課

〒514-8570 三重県津市広明町13番地
（メディカルバレー推進班）TEL: 059-224-2331
（総合特区推進班）TEL: 059-224-3351
FAX: 059-224-2344（各班共通）
E-mail: life@pref.mie.jp

メディカルバレープロジェクトホームページ

<http://www.mvp.pref.mie.lg.jp/>

みえ福祉用具産業支援ネットワークホームページ

<http://www.fynet.pref.mie.lg.jp/>

医薬品安全情報提供システムホームページ

<http://www.medsafe.pref.mie.lg.jp/>

三重県薬事工業情報提供システム(PIIS)ホームページ

<http://www.piis.pref.mie.lg.jp/>

健康と福祉の向上を目的に、産学官と県民のみなさまをつなぐ機関誌

メディカルバレー通信

発行/三重県健康福祉部ライフイノベーション課

vol. 27



Contents

- ◆ みえライフイノベーション総合特区の紹介
地域拠点の取り組みについて
- ◆ 三重県が平成25年度に実施する事業
- ◆ 医療・福祉機器関連の製品開発成果の紹介

